



iQube かんたん導入ガイド ver. 1.1

目次

1. サインアップ	3
1-1. はじめに.....	3
1-2. 用語法.....	4
1-3. サインアップ.....	5
1-4. 登録情報の確認.....	6
2. 初期データの入力	7
2-1. サンプルデータを削除する	7
2-2. グループを作成する.....	8
2-3. 内部ユーザーを作成する.....	9
2-4. 各グループにユーザーを追加し、組織化する.....	10
3. さらなる活用法	11
3-1. 組織の階層構造を反映するときは.....	11
3-2. 外部の会社と連携するときは.....	12
3-3. スケジューラの設備を登録するときは.....	13

1. サインアップ

1-1. はじめに

iQube をお選びいただき誠にありがとうございます。iQube は、企業としての統制を保ちながら、ボトムアップでの知識の共有や、多様な組織を横断したコラボレーションを可能にする、新発想の Enterprise 2.0 サービスです。

iQube は、SaaS(Software as a Service)形式で提供され、必要なときに必要な分だけご利用いただけます。

この「かんたん導入ガイド」は、サインアップから基本的な初期設定作業に至る手順を解説したものです。この「かんたん導入ガイド」には、各機能の詳しい説明は記載されておりませんので、予めご了承下さい。

1 - 2. 用語法

iQube で使用されている用語のうち主なものについて、その意味を記載しています。

- **スーパーバイザー** … 全体設定を操作する権限を持ったユーザー。
- **外部会社** … 他の会社のこと。外部ユーザーは必ずいずれか一つの外部会社に所属します。
- **グループ** … 複数のユーザーが集まるワークスペース。全てのグループにはグループ管理者がいます。グループは4つのタイプ(公式組織・プロジェクト・連携グループ・サークル)から選択できます。
- **プライマリーグループ** … 行動の中心となるグループです。各ユーザーにつき、スーパーバイザーが設定します。
- **内部ユーザー** … 自社のユーザー(会社コードを入力せずにログインした自社ユーザー)。
- **外部ユーザー** … 他の会社のユーザー(特定の会社コードを入力してログインした他社ユーザー)。
- **モジュール** … パーソナライズドポータルに表示される、新着情報などを表示するボックスのこと。

1-3. サインアップ

サインアップ(フリートライアルまたは購入申し込み)は、iQube ポータルサイトから行います。

フリートライアルまたは購入申し込みをしたユーザーが、その会社の最初のスーパーバイザーとなります。
サインアップ後にスーパーバイザーを変更したり、スーパーバイザーの人数を増やしたりすることができます。

iQube ポータルサイト <http://www.iqube.net/>

サインアップを済ませたら、ログイン画面に移動し、メールアドレスとパスワードを入力してログインします。
ログイン画面は、iQube ポータルサイトの画面右上にある「ログイン」リンクをクリックすると表示されます。
最初は内部ユーザーとしてログインするので、サインアップ時に設定した会社コードの入力は不要です。

iQube ログイン画面 <https://app.iqube.net/>

最初のスーパーバイザーは、社内での本格的な利用の前に、グループやユーザーの登録を行ってください。

1 - 4. 登録情報の確認

サインアップ時に入力した自社の会社情報は、下記のリンクから確認・変更が可能です。

[全体設定] - [基本会社情報]

ただし、[会社コード]は変更することができません。

サインアップ時に入力した申し込み担当者の情報は、最初の内部ユーザーのものとして登録されます。
内部ユーザーの情報は、下記のリンクから確認・変更が可能です。

[全体設定] - [内部ユーザーの設定]

2. 初期データの入力

2-1. サンプルデータを削除する

初期データの入力の前に、サンプルとして登録されているサンプルデータを削除します。

[全体設定] - [全てのサンプルデータを削除する]

サンプルとして登録されていたデータが削除されます。

作成したデータは削除されません。

2-2. グループを作成する

下記のリンクをたどり、まずユーザーの共同作業の場となるグループを新規作成します。

[全体設定] - [グループの設定] - [追加する]

グループは、いつでも追加、終了することができます。

グループを終了させた場合、表示されなくなりますが、いつでも再開することができます。

以下では、主な入力項目の説明を記載しています。

- グループタイプ … 公式組織、プロジェクト、連携グループ、サークルの4種から選びます。一度設定したグループタイプの変更はできません。
 1. 公式組織
 - ・会社の組織図に基づくオフィシャルな部署に向いています。
 - ・種類・階層・上位グループなどの設定が可能です(任意)。
 - ・参加方法として「自由参加」を選択できません。
 2. プロジェクト
 - ・色々な部署の人が集まる一時的なプロジェクトなどに向いています。
 - ・参加方法として「スーパーバイザーによる登録」を選択できません。
 3. 連携グループ
 - ・内部ユーザーだけでなく外部ユーザーも加わることができます。
 - ・参加方法として「自由参加」を選択できません。
 4. サークル
 - ・同好会などの非公式なグループに向いています。
 - ・参加方法として「スーパーバイザーによる登録」を選択できません。
- 種類 … 「営業」・「開発」などグループの種類を選べます(任意)。
- 階層 … 「部」や「課」など、任意で設定した階層を選べます。
- 上位グループ … 上位のグループを任意で選べます。
- 参加方法 … 選択肢の上位にあるものは、下位にあるものを兼ねています。
- グループの公開 … 非公開にすると、メンバー以外には見えなくなります。

2-3. 内部ユーザーを作成する

下記のリンクをたどり、内部ユーザーを新規作成します。

[全体設定] - [内部ユーザーの設定] - [追加する]

内部ユーザーは、いつでも追加、一時停止することができます。

内部ユーザーを一時停止させた場合、表示されなくなりますが、いつでも再開させることができます。

一時停止中の内部ユーザーは、ログインすることができなくなります。

以下では、主な入力項目の説明を記載しています。

- **プライマリーグループ** … 各ユーザーについて、メインのグループを指定します。プライマリーグループは、様々な機能で利便性を上げるために利用されます。
- **プロジェクト作成権限** … この権限のないユーザーは、「プロジェクト」というグループタイプのグループを作成することができません。
- **サークル作成権限** … この権限のないユーザーは、「サークル」というグループタイプのグループを作成することができません。

2-4. 各グループにユーザーを追加し、組織化する

グループと内部ユーザーを一通り作成したら、各グループにユーザーを追加して、組織化しましょう。全体設定からは、下記の二つの方法で組織化することができます。

A. [全体設定] - [組織と所属の管理]

B. [全体設定] - [グループの設定] - [ユーザー]

以下では、Aの方法について記載しています。

1. [組織と所属の管理]画面を開くと、[現在]の組織と[変更後]の組織が表示されています。
2. ユーザーリストから、任意のユーザーをマウスでドラッグし、追加したいグループ名にドロップします。
3. [変更後]の組織内でユーザー名をクリックすると、「管理者」「プライマリー」「グループから削除」の3つが表示されます。
4. [管理者]にチェックを入れると、そのユーザーがグループの管理者となります。
5. [プライマリー]にチェックを入れると、そのユーザーのプライマリーグループに指定されます。
6. [グループから削除]にチェックを入れると、そのユーザーがグループから削除されます。
7. 変更を終えたら、[保存する]をクリックします。

3. さらなる活用法

3-1. 組織の階層構造を反映するときは

下記のリンクから、会社の組織に応じた階層構造を設定することができます。

【全体設定】 - 【階層名の設定】

「本部」「部」「課」などを設定しておくことができます。

これらの階層は、公式組織の作成画面で選択することができます。

公式組織は、上位グループを設定することができます。

上下関係は、ユーザー側画面のグループ一覧などに反映され、ツリー構造で表示されます。

3-2. 外部の会社と連携するときは

外部の会社と連携するときは、次の手順に従います。

1. 連携グループを作り、必要な内部ユーザーを追加する。

[全体設定] - [グループの設定] - [追加する]

2. 外部会社を作り、所属する外部ユーザーを追加する。

[全体設定] - [外部会社の設定] - [追加する]

[全体設定] - [外部ユーザーの設定] - [追加する]

3. 外部ユーザーを連携グループに追加する。

[全体設定] - [組織と所属の管理]

3-3. スケジューラの設備を登録するときは

スケジューラでは、会議室や備品などの設備を登録して使用することができます。
設備は、種類ごとにまとめた設備グループに整理することができます。

設備グループの作成は、下記のリンクから行います。

[全体設定] - [設備グループ] - [設備グループを追加する]

設備の作成は、下記のリンクから行います。

[全体設定] - [設備] - [設備を追加する]